

「第39回 全国青年の集い2025 in 山梨 健康経営大賞」

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・
千葉大学医学部附属病院 特任教授・産業医・
全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト青年部会・部会員企業

【青年部会】

(局連・県連)	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
富山法人会 (金沢・富山)	<p>取り組みへの参加人数が着実に増加しており、活動の広がりと定着が見られます。小杉氏のもと、意義を理解しながら取り組まれていると思います。</p> <p>特筆すべきは、会員企業が独自に開発した「健康チェックカード」や「健康経営ゲーム」を活用し、交流を通じて学ぶ“体験型・対話型”的スタイルを導入している点です。この斬新なアプローチにより、参加者は楽しみながら自然に健康意識を高めることができ、結果としてモチベーションの維持にも貢献している点が素晴らしいと思います。</p>	<p>健康経営宣言を100%に近づけるためには、継続的な努力が必要です。すでに親会や地域企業を巻き込んだ活動が実現していることは大きな成果であり、今後の発展に向けた強固な基盤となっています。</p> <p>次のステップとして重要なのは、これらの取り組みが地域経済や医療費の適正化にどのような効果をもたらしているかを「可視化」し、外部へ積極的に発信することです。</p> <p>このような情報発信は、行政や自治体との連携を広げるうえで有効であり、さらなる協働の可能性が開かれます。</p>